

④調理場の方式、建設費用、設置後の運営方法などさまざまな角度から検討を進めているが、現時点では、現行施設を適切に管理しながら、安心・安全な給食が実施できるように努めていく。

○熊谷学校給食センター)  
○その他の質問項目  
「南運動場（野球場）及び屋外プール（市民プール）について」

**貧困対策、(仮称)緊急生活支援資金について**

林 真佐子 議員

**問** ①生活保護にまでいかないが、現在困っている方へ緊急に生活支援を援助できる制度の創設は②県および本市の社会福祉協議会で実施している生活福祉基金の貸付制度の概要、利用状況および見直しについて、それぞれ伺いたい。

**答** ①本市社会福祉協議会が行っている低所得者向けの貸付制度を案内しており、新たな制度は考えていない。②県の緊急小口資金は十万円を貸付限度額とし、貸付利率は年三％で保証人の必要はなく、利用状況は平成十八年度に一件である。また、本

市福祉基金は、五万円を貸付限度額とし、償還期間は一年以内、無利子で保証人の必要はなく、利用状況は平成十八年度六十三件、十九年度七十一件、二十年度は十一月末現在で五十三件である。また、現在、貸付制度に対する見直しの考えはないとのことである。(福祉課)

**経済不況に対する緊急対策を**

高橋 初 議員

**問** ①二兆円の定額給付金の経済効果と三年後の消費税増税についての見解②不況対策のための緊急特別融資制度の創設③現行の市の融資で納税証明添付をなくすなど改善ができないか、それぞれ伺いたい。

**答** ①十二月二日に県主催による説明会が行われたが、総務省の資料は、不明確な部分が多く実行段階に至っていないのが率直な感想であり、今後も国の動向等に注目し対応していく。消費税率引き上げについては、報道では仮定の話が多く内容が明確

となっていないため答弁は差し控えていただきたい。  
②本市融資制度全般について商工業振興対策委員会に諮問し、より迅速で効果的な融資が行えるよう検討している。③制度融資の資金は税金が原資のため、納税要件の緩和は困難である。(企画課)

**市田小学校トイレの消臭、脱臭に係る清掃について**

大久保 照 夫 議員

**問** トイレの便器に付いた尿石は、使用に伴い付着するものであるため、手入れが行き届かないと悪臭が立ち上るのは必至である。これを子供や職員が努力しても、対応することは不可能であるため、年に一度くらいは清掃業務を入れる考えはあるのか。

**答** 職員やPTAにより、市内の各小中学校のトイレの尿石除去作業を行っている。しかし、清掃困難な場合には、業者に依頼して、作業を行ってきた。市田小学校についても、清掃困難と認められるため、

早速、対応していきたい。(教育総務課)  
○その他の質問項目  
「水道事業について」

**産科医師の体制充実に**

大山 美智子 議員

**問** 安心して出産を迎えられるように環境を整えることが求められている。そこで①医師体制と助産院の現状②本市、医師会および助産師会等の連携について③救急搬送の状況について、それぞれ伺いたい。

**答** ①本市には熊谷総合病院と藤間病院の二病院および六つの診療所と二つの助産院がある。この二病院は七、八名体制で、その他の医院等は一名から三名で執務していると同っている。②助産院でのお産は、助産師が担当し、ハイリスク分娩の時には嘱託医との連携が図られ、本市とは母子保健事業を通して連携を図っている。③現在まで救急搬送による大きな問題等はなく、概ね順調な状況にあると考えている。(健康づくり課)  
○その他の質問項目  
「国民健康保険について」ほか

**保育所の充実で子育て支援を**

桜井 くるみ 議員

**問** 公立保育所の受け入れ年齢の実態と合併時における協議内容について、また、今後、どの保育所でも0歳児を受け入れるべきと考えるが、見解を伺いたい。

**答** 0歳児の受け入れ状況は、熊谷地区が八週から、大里地区が二歳から、妻沼地区が十一月から、江南地区が一歳六カ月からとなっている。受け入れ年齢については、合併時の協議で、旧市町の基準を当分の間、新市にそのまま引き継ぐこととして、現在に至っている。また、0歳児からの受け入れについては、早い時期に実施できるよう検討していきたい。(保育課)

**スポーツ環境の整備について**

吉原 邦 陽 議員

**問** ①スポーツ施設にAEDや製氷機などを設置できないか。また、②全国大会等選手派遣費補助金③熊谷